

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域の文化的な環境への満足度	作成日	R7.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歴史文化課・文書館			評価日	R8.3.31

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	文書館で保存する歴史公文書等を市民共有の知的資源として、適切に保存・利用提供します。	政策2-3-①	利用提供数(件)	250	237	適切な資料提供の実施	文書館の事業内容を周知し、特定歴史公文書を適切に市民の利用に供します。	△	利用提供数は概ね目標数となりました。開館から5年を迎え、使用者や利用件数は安定的な数値になってきています。 個人宅等への資料調査件数と事前審査回数は、職員の主体的な取組もあり、順調に数を伸ばしました。	引き続き、利用者に対し丁寧なレファレンスと資料提供に取り組めます。 今後も個人宅への調査を継続するとともに、地域の歴史関連団体と連携した古文書調査へも積極的に参加していきます。
			個人宅等への資料調査の件数(件)	5	11	計画的な資料調査の実施	年度当初に、文書群台帳などから訪問先を選定し、計画的・主体的に資料調査を実施していきます。			
			特定歴史公文書の事前審査を行った回数(回)	15	26	講座・企画展・資料調査等と関連させた事前審査の実施	簡易閲覧(審査不要)の資料を増やすため、機会を捉えて、特定歴史公文書の事前審査を行います。			
2	本市の歴史や歴史に関する資料等に興味をもってもらえるよう、歴史講座の開催や文書館が所蔵する資料展示などにより情報を発信します。	政策5-2-②	講座の開催回数(回)	10	25	参加者にとって分かりやすく参加しやすい講座の計画・実施	昨年度のアンケートを講座実施計画に活かし、より参加しやすい講座にします。内容については、各担当が学芸的職員と連携し、内容の充実(プレゼン・配付資料)を図っていきます。	○	さわやかトークの依頼が倍増し、文書館の認知度と役割が広く知られてきているものと考えます。 「戦場としての新潟」のWeb公開では、電子書籍のほかHTML版の同時公開など、障がいのある方々への対応にも取り組み大きな成果をあげました。	令和8年度は、職員の減員があり、また、後送りできない課題もあることから、市民からの講座希望を文書館だけでは受けきれないケースが想定されますが、みなとぴあなどと連携しながら、開催希望者の要望に応えていきます。
			刊行物のデジタルデータ化(冊)	1	1	刊行物のデジタルデータ化によるWeb公開	「戦場としての新潟」(平成10年発行)をデジタルデータ化してWeb公開するとともに、戦争関連の多様な学びやニーズに対応した支援を行います。			
3	教職員や児童生徒に、文書館を(施設として、職員を、所蔵資料を)活用してもらえるよう、学校との連携を強化します。	行財3-2-③	学校の授業・校外学習等で文書館を利用する学校数(校) ※職員の派遣も含む	5	9	学校向けの文書館広報の発行 及び 関係者の研修への協力	引き続き学校向けの広報紙を発行します。また、文書館を活用した研修などが今後も継続して行われるよう、市小研社会部や北区教育支援センター、各学校との連携を大切にしています。	○	文書館の認知度が高まったことで、学校からの研修や出前授業の依頼が少しずつ増えました。	年度始めに、学校向けの広報紙を発行し、文書館の活用例を教職員に周知します。また、学校現場とつながる機会を捉え、研修・出前授業・資料活用などの情報を発信します。